

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム さらさの杜 (しおさいユニット)	評価実施年月日	平成22年2月20日～28日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年3月2日

北海道

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らして行くことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>ホーム独自の理念を作成し、利用者個々がその人らしく生活できるよう支援している。</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>事業所内に掲示し、理念の大切さと理解に努め、新入社員にはオリエンテーション時説明し、理念達成に向け日々取り組んでいる。</p>		
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>ご家族には入居時説明し、理解して頂いている。ボランティア等地域の方々の来訪者には事業所内に掲示してある理念を説明している。</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>○近隣とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所のひとと気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつき合いができるように努めている。</p> <p>地域主催の行事見学に参加し、挨拶を交わしている。施設内清掃や利用者とのコミュニケーションの為にボランティア実施時は気軽に声を掛けられるような雰囲気作りをしている。</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>町内会のお祭り見学、地域主催の文化祭に利用者の作品を出展参加や地域ボランティアの方々とコミュニケーションやお茶を一緒に楽しんだり、学生との交流等、地域と交流が図れている。</p>		
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合いし、取り組んでいる。</p> <p>このような取り組みは行っていない。</p>		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践する為の制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実践する意義を理解し、評価を生かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>○運営推進会議を生かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業者は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村と共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	○	今後、権利擁護に関する制度の理解ができるよう、全スタッフと研修の機会を設けて行く。
11	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされる事がないよう注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>契約を結んだり介助する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者には日常生活の中で、意見・不満・苦情を言って頂けるよう話し合いの機会を設けている。ご家族にはカンファレンス時や面会時、又電話等でいつでも不満や希望を話せるような雰囲気作りに努めている。不満や希望が聞かれた際には、ユニット会議・職員会議等を開催し、改善策を話し合いしている。		
14 ○家族への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	利用者の健康状態、体調に変化が見られた際などは都度電話連絡し、生活の様子については、カンファレンス時、面会時都度報告している。又金銭管理については預かり書・領収書を作成し、毎月郵送している。必要物品については事前に電話連絡し使途報告を行い了解を得ている。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	定期的に行っている運営推進会議にてご家族の意見を伺い、利用者・ご家族の個々の意見や希望は面会時・カンファレンス時確認しており、プランに反映し、サービスの提供に努めている。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け反映させている。	毎月、業務会議・職員会議・ユニット会議実施し職員の意見や提案を聞き、業務改善に反映されている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に勤めている。	必要時随時勤務調整をしている。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑えられるよう努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動は極力行わないよう努めているが、やむを得ず職員の間際等は利用者へ説明し、精神面に配慮している。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成する為の計画をたて、法人内外の研究を受ける機会の確保や働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新任者へは入社後、一ヶ月以内に新任研修を実施している。施設内研修会を毎月定期的に行いサービスの質の向上に努めている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	地域包括ケア会議に定期的に参加し意見交換や勉強会の機会を設けている。地域居宅介護支援事業所へも定期的に訪問し情報交換し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	悩みがある時は、気軽に管理者に話せる環境作りに努めている。管理者は、日頃の会話の中から職員の気持ちを汲み取る努力を行っている。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	職員一人ひとりの実績を大切にし、尊重し合える環境づくりに努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまで本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聞く機会をつくり、受け止める努力をしている。	施設長・管理者・ユニット長が中心になり、生活上利用者が困っていることや不安なことをよく聞く機会を設けている。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聞く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご家族からの相談や悩み等は常時受け付けており、又、入居前面接時、ご家族の家族状況や意向確認し入居者が不安無く過ごせる様、又ご家族も安心できる様な対応に心がけている。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居相談時、ご本人・ご家族の意向確認し、居宅介護事業所や訪問介護、通所介護等のサービスの紹介・アドバイスを行っている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前見学や体験入所を実施し、利用者が精神負担無くサービスを利用できるよう工夫している。		
2. 新たな環境づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	利用者を人生の大先輩であるという気持ちを忘れずに対応を行うよう努めている。食事を作る際等は、利用者の声を聞き、アドバイスを受けながら調理する等、一緒に楽しみ支えあう関係ができています。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えて行く関係を築いている。	面会時や電話等で、利用者の日常の過ごし方、状況の変化等を報告し、ご家族・スタッフが丸となって利用者を支えて行けるような関係を築いている。		
29 ○本人と家族のより良い関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している。	利用者のご家族との関係を把握し、ご家族へ面会の協力を得、入居後もよりよい関係を築いていけるよう支援している。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの生活の継続ができるよう、持込の荷物等に配慮している。知人や家族の関係が継続して保たれるよう面会の協力を得ている。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるように努めている。	利用者個々の性格の把握に努め、食事席・後片付けの手伝いの順番等声掛けを行い、利用者同士より良い関係を築けるよう配慮している。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても継続的な関わりを必要とする栄養者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	現在、サービスを終了しても継続的な関わりを必要とする方がいないので評価は困難である。		
Ⅲ. そのひとらしい暮らしを続ける為のケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望・意向の把握に努めている。困難な場合は本人本意に検討している。	カンファレンスにて、利用者・ご家族の意向確認しプランに反映し、状況に変化が見られた際・困難が生じた際は都度検討している。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みのくらし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前面接にて、ご本人・ご家族より確認し把握に努めている。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日常生活の中で、一人一人の様子を観察し、申し送り、ユニット会議等で情報を共有し、心身の状況や能力等の把握に努めている。		
2. 本人がよりよく暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームで作る利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	利用者がより良く生活する為に、スタッフ・利用者・ご家族の意向が反映されたプラン作成に努めている。作成したプランについては、適切に提供されるようチェック・記録されている。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、状況に即した新たな計画を作成している。</p>		
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源と協働			
40	<p>○地域資源と協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化、教育機関等と協力しながら支援している。</p>	○	今後もボランティア等による地域との交流の機会を設けて利用者に活気の有る時間を提供して行く。
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為に支援をしている。</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	○	今後も、必要に応じて、利用者のニーズに応えるためにも、地域包括支援センターとの連携や協働体制に努めて行きたい。

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご家族の了解を得、利用者一人々の主治医を決定しており、定期的に受診や往診(1回1/W)を受けている。その他、体調に変化が見られた際には、主治医に報告し適切な医療を受けられるよう支援している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	受診の際は職員や家族が付き添いし、主治医と相談し治療を受けられるよう支援している。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者を良く知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員は確保していないが、かかりつけ病院の看護職員に気軽に相談にのって頂いている。	○	今後も医療機関との連携を行い、体調不良時・緊急時は報告し指示を仰ぎながら利用者の健康管理に努めていく。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせる様、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	日常生活状況の情報を提供し、病院側やご家族から入院の状況や経過を確認する等、早期退院に向け情報の交換を行っている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化した場合や終末期に向けた方針は共有できていない。	○	今後、ご家族の意向確認し、主治医と連絡を取り合いながら、利用者・ご家族・主治医と話し合いし、全員で方針を共有できるよう努めて行く。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度化や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご本人・ご家族の意向を確認し、主治医と連携し、「施設側で対応できる部分はここまで」と状況を報告し指示を仰ぎながら支援している。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49	<p>○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居室へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> <p>基本情報を下にスタッフ間で十分話し合いし情報を共有し精神面に配慮している。</p>		
<p>IV. そのひとらしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. そのひとらしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような声掛けや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p> <p>プライバシー保護のマニュアルを作成し研修を行い、全職員に周知徹底しており、利用者一人ひとりのプライバシー保護に配慮した対応を行っている。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> <p>日中の生活において個々の希望を尊重している。(食事については嗜好を確認し拒否食品に対しては代替食を提供など)。その日、その時々のおしは気軽に話せるよう支援している。</p>		
52	<p>○日々のそのひとらしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日々をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> <p>食事、入浴や買い物など、日中の過ごし方については、利用者のペースに合わせた対応をしている。</p>	○	<p>今後も個々の過ごし方の希望を受け入れた対応を行って行く。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店にいけるように努めている。</p> <p>訪問理容・美容は利用者・ご家族の希望を確認している。長年利用している美容院へはご家族が対応している。</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> <p>毎日の食事や会話の中でご本人の好きな物、嫌いな食べ物を聞き、提供している。盛り付け・配膳・片付け等もスタッフと一緒にやっている。</p>		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みの物を一人一人の状況に合わせて日常生活に楽しめるよう支援している。	飲酒・喫煙をされる利用者はいないが、お茶の時間には利用者の嗜好確認し提供している。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やオムツの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、その人に合った間隔の声掛け・トイレ誘導し失敗無くトイレで排泄できるよう支援している。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように支援している。	一応曜日は決めているが、気分が乗らなかつたり、拒否が見られた際には、時間をずらし声掛けを行ったり、曜日関係なく利用者の気分の良い時に入浴できるよう対応している。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり、眠れるように支援している。	利用者が昼寝等休息したい場合には、無理を言わずそのときの状況に応じて居室やソファで休んで頂いている。メリハリのある生活を心がけており、就寝時間についてもある程度の時間までホールで過ごして頂き安眠できるよう支援している。		
(3) そのひとやしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	利用者一人ひとりに合った家事手伝いをしてもらい、自分の役割を感じて頂くような支援に心がけている。文化祭や老人会等に出席し社会参加を行い気分転換を図っている。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つ事の大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している。	お小遣い程度は所持することで精神の安定を保つことができる利用者もいる。又、職員の付き添い見守りにてショッピングに行き楽しめるよう支援している。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出の支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	町内会や地域のイベントの際には希望者を見学に参加し気分転換を図っている。夏場はドライブや散歩、花壇・菜園を楽しみ気分転換を図っている。		
62 ○普段行けないところへの外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族と共に出かけられる機会をつくり、支援している。	ご家族対応で外泊や会食などには出かけている。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人には本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	施設内にも公衆電話を設置しており、いつでも気軽に電話を掛けられるようになっている。家族へかけたいと希望された時は、いつかけてもいようにご家族にも協力を得、電話のやり取りができるよう支援している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地良く過ごせるよう工夫している。	面会時には挨拶を行い、明るい雰囲気できれいに訪問して頂けるよう心がけている。ご家族が面会にこられた際には、居室でゆっくり過ごしたり、利用者と一緒に食事を楽しめるよう配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの支援 運営者ならび全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	介護保険法での身体拘束禁止については全職員理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66 ○鍵を掛けないケアの支援 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵掛けることの弊害を理解しており、鍵を掛けないケアに取り組んでいる。	居室については鍵の設置は無く、施錠をする事での弊害は全職員理解しており、玄関についても夜間は防犯防止のため施錠しているが、日中は施錠のない支援に取り組んでいる。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>67 ○利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>利用者一人ひとりの状況を把握し、昼夜プライバシーに配慮した対応を行っている。</p>		
<p>68 ○注意の必要な物品・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>認知症の為、理解困難でなくす可能性がある方の財布等は、利用者・ご家族に了解を得て事務所又は職員側で管理している。ハサミなどについては個々の能力にあわせて判断し、危険を予防した取り組みをしている。</p>		
<p>69 ○事故防止のための取り組み</p> <p>転等、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>施設内研修の実施、消防の協力を得て緊急時の対応等の研修を行い、事故防止・緊急時に備えた知識向上に努めている。毎日の申し送りにて個々の身体状態を把握し、事故防止に取り組んでいる。</p>		
<p>70 ○緊急や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>緊急時はあわててしまい手際よく対応ができない時もあるが、利用者の急変時に備えて、マニュアルを作成し、マニュアルの説明や職員全体研修を実施し、対応できるようにしている。</p>		
<p>71 ○災害対策</p> <p>災害や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が非難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるように働きかけている。</p>	<p>消防署の協力を得て避難訓練を行い、利用者全員、かつ安全に避難できる対応を身につけられるよう努めているが、地域の人々へ協力の働きかけはできていない。</p>	○	<p>消防署だけでなく、地域住民へも声かけを行い、協力を得られるよう連携を図って行きたい。</p>
<p>72 ○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。</p>	<p>ご家族には「高齢であることから、急変がいつでも起こりうる」旨を入居時、又は、カンファレンス時に説明し理解して頂いた上で、安全で安心した生活ができるようプラン作成に努めている。</p>		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>食事・水分摂取量・バイタルチェック、表情等の観察を行い一人ひとりの状況把握に努め、身体に異常所見が見られた際には、スタッフ間で情報共有し、速やかに適切な対応ができるよう努めている。</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬状況は処方箋を見、目的、副作用、用法、用量を把握し、服薬時は名前と本人を再確認し、声掛け・見守りし、飲み込んだことを確認するようにしている。</p>	
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>食物繊維等を取り入れたメニューを提供し、排便チェック・下剤の調整、主治医との連携や適度に身体を動かせるよう歩行訓練やレク実施を心がけている。排便の色・形にも注意観察している。</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後の歯磨き、食間の嗽の実施、必要に応じて歯科受診や往診を行い、口腔内の清潔に努めている。</p>	
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食べる量は一人ひとりの身体状態や体調に合わせた盛り付けを行っている。食事・水分摂取量のチェックを行い、必要に応じて主治医の指示を仰ぎながら摂取量の確保に努めており、健康管理は出来ている。</p>	
78	<p>○感染予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。</p>	<p>マニュアルを作成し研修を実施し、感染症予防に努めている。受診等で外出の際は特に念入りに手洗い嗽に努めている。</p>	

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理用具は毎日消毒を行っている。台所も毎日消毒し、衛生管理に努めている。食材については賞味期限、消費期限の確認、野菜類については鮮度を保って調理を行っている。		
2. そのひとらしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地よい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族・近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	利用者が作った作品等を飾ったり、生きがいのある生活・明るい雰囲気作りに努めている。玄関を入ると直ぐにソファを設置しているので来客者にはくつろげる空間になっている。		
81 ○居心地良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて心地よく過ごせるよう工夫をしている。	居間や廊下にはソファを設置し、いつでも座ることができる。又浴室は広いスペースで、台所は手伝いし易く工夫がされている。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間・玄関ホールや各居室に遊びに行き、利用者同士が楽しめる雰囲気作りに努めている。		
83 ○居心地良く過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の際に、本人が使い慣れた家具、なじみの物等を持参してもらい、落ち着いて過ごせるよう配慮している。		
84 ○換気・空調に配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	天候や気温の状況を見て居室やホールの換気を行っている。		

項目	取り組みの実施 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで行きたい項目)	取り組んで行きたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下や浴室、トイレには手摺りを設置し、摺りながら移動できるようになっている。 unnecessary な物品などは置かないよう施設内環境整備に努めている。</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよう工夫している。</p>	<p>利用者一人ひとりの力を把握し、できる場所は声掛けし見守りながら行い、混乱や失敗無く自立して過ごせるような支援に努めている。</p>	
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ベランダからは景色が見え季節の移り変わりを楽しむ事が出来、居室の窓からは外の花壇や菜園が見え、楽しめるようになっている。又、花壇には好きな花を植え、草取りや咲いた花を楽しんでいる。</p>	

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	① 馴染みの生活の継続ができ穏やかに過ごすことができている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	① 利用者と職員は一緒になって、会話をしながら食事をしたり、お茶を飲む時間を大切に、ゆとりある生活ができている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどない	① 一人ひとりのペースを大切に、のんびりと楽しく過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどない	② 家事手伝いや洗濯たたみ、掃除等の手伝いをされる利用者には生き生きとした表情を毎日うかがう事ができている。職員と一緒にやる事で、「手伝うことができた」という達成感を感じられる姿が見られている。歩行訓練時やレク実施時とてもステキな笑顔が拝見できている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどない	③ 季節柄もあり、いつでも出かけられるわけではないが、地域での催し物・買い物・ドライブ等は希望を聞き入れ出かけることで精神安定が保たれている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどない	① 主治医と連携が取れ、定期的受診・往診にて健康に過ごすことができている。毎日のバイタルチェックや表情の観察、食事摂取量のチェック等で健康面の管理ができている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどない	① 利用者一人ひとりの状況に応じた柔軟な対応をしており、安心して落ち着いた生活を送って頂いている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	① 入居時・カンファレンス時・面会時やご家族から連絡があった際に要望・希望を確認し、不安なことなく過ごせるよう対応を心がけている。又結果についても電話にて都度報告しており、信頼関係は築けている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が尋ねてきている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	③ ご家族の面会は定期的に見られているが、知人の面会は極まれに見られる程度である。
	項目	取り組みの成果	

97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者との繋がりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くない	② 地域団体によるボランティアの回数が増えたり町内会による視察などが見られるようになっており、グループホームに対する理解者や応援者は増えている。
98	職員は、生き生きと働けている	① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどない	② 利用者に笑顔と生きがいのある生活を提供できるように職員も常に明るい雰囲気での対応を心がけている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどない	② 体調や認知度にもよりますが、楽しみや生きがいを持って笑顔のある生活がある程度過ごすことができている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族が ② 家族の2/3くらいが ③ 家族の1/3くらいが ④ ほとんどない	① ご家族からの要望は面会の都度確認し対応している。アンケート調査実施にて概ね満足されている事が確認できている。

【特に力を入れている点・アピールし対点】

(日々の実践の中で、事業所として取り組んでいる点・アピールしたい点を自由記載)

- ・社会福祉協議会や町内会での催し物に参加(希望者のみ)し楽しみのある時間を提供している。
- ・利用者に生き甲斐を持っていつも笑顔のある生活をして頂くために、職員もいつも明るい雰囲気での対応を心がけている。